

石館光三君とアミコス杯

7期 山中 徹

今年同期生（7期）であり盟友・戦友・悪友であった石館君が逝去されました。80歳での急逝は私にとってもまだまだ活躍ができるとの思いから残念でなりません。

彼は薬学会の重鎮である石館守三先生の御曹司で東京生まれ、東京育ち。子供の頃にファッションモデルをしていただけたスタイル・ルックスともに良く田舎者の私にとっては眩しく映っていました。その彼があらうことか一年留年して私と同学年になり、それからは彼とは学生の時は勿論のこと大学院を出てからもゴルフや麻雀等悪友としてお付き合いをさせていただいておりました。

アミコス杯の発足も彼なくしては無かったと言っても過言ではないと思います。彼はフランクで気さくな人柄と面倒見の良さ、顔の広さから7回生だけでなく6回生を含めたゴルフコンペを企画し、出身教室の衛生学教室の面々、さらには5回生まで裾野を広げていきました。その後30年前東京同窓会の発足のため各学年から2名の学年幹事を出して幹事会が発足し、私と石館君が7期生の代表として幹事会に出席しました。会の終了後の懇親会の席上で7期生を中心としたゴルフコンペの話をしたところ、ゴルフ好きの引地 学さん（1期）と柴田健雄さん（3期）からは是非全学年へ広げるべしとの指摘が有り、各学年に声をかけ名称をアミコス杯として発足しました。

今年も10月21日に第52回アミコス杯が千葉県東我孫子カントリーで開催されました。優勝者は木村 仁君（13期）、準優勝者は柴田健雄さん（3期）でした。なんと柴田さんは84のベスグロとともにエイジシュウトを達成されました。

この石館君の思い出のある大会が今年も盛会裏で終わりました。名誉会長であった石館君も草葉の陰で喜んでいると思います。老若男女関係なく一日中緑豊かな自然の中で過ごせるのは幸せなことでもあり、他学年との交流も出来ることから私も健康が許す限り参加したいと思っています。

最盛期には30名を超える参加者がいましたが、近年は物故者（3名）や老化、健康の為に参加者が減ってきているのが残念です。若い人を中心に参加者が増えることを切に願っています。石館君も同じ思いでしょう。